

ケーブル大全 2017 - JAPAN



世界のケーブルブランドのいま



日本

FURUTECH

●取り扱い：フルテック株



写真のモデル：左から時計まわりに、電源ケーブル「Power Guard-48」(¥59,000/1.5m)、「The Astoria」(¥22,000/1.5m)、「The Empire」(¥35,000/1.5m)、フォノケーブル「The Silver Arrows-II」のRCA-RCA仕様(¥190,000/1.2m)とDIN-RCA仕様(¥184,000/1.2m)、電源プラグ&IECインレット「FI-50 NCF(R)」[「FI-50M NCF(R)」](ともに¥32,000)、新発売のハイエンド・インライン・フィルター「Flux-50 NCF」(¥89,000)

“完成品ケーブル”の市場に強力投入 個性を備えた2種類の電源ケーブルも登場

Text by 福田雅光 Masamitsu Fukuda

Profile

高品位で信頼性の高いオーディオケーブル関連のコンネクターを次々と輩出し、世界の市場を席巻し続けるフルテック。最近では新素材NCF(ナノ・クリスタル・フォーミュラ)を採用することで帯電防止効果を高めた電源プラグも登場させるなど、大きな話題を生み出している。そんな同社で忘れてはならないのがケーブルの存在。独自の導体であるα-OCCを中心としつつ、新たに銅銀合金の採用も開始。スタジオユースも想定したハイCP電源ケーブルも登場させるなど、“完成品ケーブル”の市場にも大きく参入を開始した。



特殊素材NCFをボディに調合したハイエンドグレード20A壁コンセント「GTX-D NCF(R)」(¥22,000)も好評発売中

ある種個性を備えた設計である。

上級の「エンパイア」は芯線の太さによるエネルギー、24K金メッキプラグの性質を融合した音質設計で特色を出している。肉厚な低域中低域の柔軟な表現力、柔らかな音質、骨太なスケール感など、低音の魅力を楽しみたい、ある種個性を備えた設計である。

フルテックは最近P-C-I-T-R i P l e C 導体を採用した電源ケーブルを開発した。完成品は「アストリア」と「エンパイア」の2モデル。ケーブル構成の違いもあるが、音質は装着されているプラグの性質がかなり関係しているだろう。「アストリア」は広帯域で解像度が高く純度の高い音質。この音は例のない性能を持つている。硬く引き締まる解像度だけでなく、繊細な表情に瑞々しいニュアンスを備えていることが注目できる。